

平成20年度第1回磯子区地域福祉保健計画推進委員会議事録

開催日時	平成20年6月24日（火）午後6時30分から午後8時15分まで
開催場所	磯子区役所 701号会議室
出席者	<p><委員></p> <p>佐藤委員・関委員・上杉委員・鈴木委員・福士委員・三澤委員・水越委員・中里委員 堤委員・櫻井委員・関野委員・小宮山委員・矢野委員・岩瀬委員・大平委員・吉田委員 嘉代委員</p> <p><事務局></p> <p>区：守屋区長・宇賀神センター長・高柳担当部長・林福祉保健課長・中村事業企画係長 伊東（秀）職員・小林職員・伊東（ゆ）職員・小先職員</p> <p>区社協：内藤事務局長・中島次長</p> <p><オブザーバー（ケアプラザ）></p> <p>長谷川職員（根岸）・高橋職員（滝頭）・村崎職員（屏風ヶ浦）・岸本職員（新杉田） 松田職員（洋光台）</p>
欠席者	濱田委員・時任委員・佐々委員・野田委員
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員委嘱 ・ 区長あいさつ ・ 委員自己紹介 ・ 事務局紹介 ・ 委員長及び副委員長の選任 委員長：吉田委員、副委員長：鈴木委員・佐々委員に決定。 ・ 委員長、副委員長あいさつ <p>1 各地区の取り組みなどについて</p> <p>各地区取り組みの19年度事業実績及び20年度計画について、事務局から説明（資料1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1の見方について（各地区で報告方法が異なる場合があるという点を中心に説明） ・ 1地区あたり2つから3つの取り組みを紹介 <p><意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洋光台地区の「交流の集い」は、資料では推進委員会のみが実施団体となっているが、実際にはさまざまな団体で運営を行い、100名以上が関わっている。他の取り組みについても同様に多くの団体関わっている。 ・ 推進3年目にあたり、地域力を高めていくために行政で考えているところはあるか。 →皆様の意見を頂きながら、進めていきたいと考えている。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まめ通信」について、他地区の取り組みを知ることができて良いという意見とともに、自分の地区が掲載されることが励みになるという意見を頂いている。 ・ 昨年度に、参加したいと思わせるようなチラシづくりのポイントなどについて学ぶ「企画力アップ講座」を実施した。杉田地区の「青少年と地域との交流会」では多くの中学生の参加があったが、講座を受講したスタッフの方による素晴らしいチラシもその一因ではな

いかと聞いている。

2 あなたの提案実現事業について

20年度の概要及び19年度の事業について、事務局から説明（資料2）

<意見等>

- ・ 今年度の新規申請が1件しかなかったことについて、事務局はどのように考えているのか。
→申し込みが少なくなっていることや、これまで行ってきた事業の効果などを考慮して、今後、この事業を継続していくのかどうかも含めて、推進委員会で検討していく必要があると考えている。
- ・ 滝頭の商店街で「地域経済元気づくり事業」を市の助成を受けて実施したが、正味1年半の活動でようやく形ができてきた状況であり、2年間で結果を出すのは難しいと感じた。行政は数字で結果を出すようにと言うが、まちおこしには数字での評価はなじまないのでは。もっと長い目で考えてほしいと思う。
- ・ 「いそっこ」は、準備段階に2年かかった。実績を伴わないと信用が得られず、助成金も受けられない。運営する人も代わっていくため、継続していくことは大変なことであり、2年で地域に根付くのは難しいと思う。継続していく中で、新しい企画が出てくるのではないか。
→多くの団体に助成を行うために2年間という助成期限を設けた。税金を使う以上、費用対効果も勘案せざるを得ないこともご理解願いたい。
　　今後は、あなたの提案実現事業に限らず、スイッチONの取り組みを地域で活性化させるためにはどのような取り組み方法が良いのか、推進委員会で意見を伺いながら検討していきたい。
- ・ 助成金の対象となる事業について、「将来に向けて継続性が認められる事業」となっているが、助成期間終了後も事業が継続されているかどうかについて知りたい。
→今後、推進委員会で情報提供していく。

3 20年度の全体スケジュールについて

20年度「スイッチON磯子」推進スケジュール及びしあわせバンクについて、事務局から説明（資料3）

（事務局）

- ・ しあわせバンクの事業効果は、地域活動に関わっている人や関心のある人、情報を発信したい人や求めている人が、誰でも簡単に情報を得ることができ、住民同士で地域を支えあう活動を活発化させることにあると考えている。
　　同様の仕組みを持っている地域もあると聞いているが、その活動が多くの人に知られているわけではないと聞いている。そのため、誰もが参加できるような仕組みを、地域の方々と意見交換しながら考えていきたい。1~2地区程度で秋頃からの運用開始をめざしているところだ。

	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市第二期地域福祉計画の策定状況について、事務局から説明（資料8） <p>担当部長あいさつ</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1 「スイッチON磯子」各地区の取り組みなどについて</p> <p>資料2 あなたの提案実現事業について</p> <p>資料3 平成20年度磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」推進スケジュール・しあわせバンクについて</p> <p>資料4 磯子区地域福祉保健計画推進委員会設置要綱</p> <p>資料5 磯子区地域福祉保健推進活動助成金交付要綱</p> <p>資料6 磯子区地域支えあい事業実施要綱</p> <p>資料7 磯子区あなたの提案実現事業助成金交付要綱</p> <p>資料8 横浜市・区地域福祉計画ニュース 平成20年度第1号</p>